

NEXT

55



みんなの力で、みんなの幸せを

SAWARABI

さわらび

1 表紙 田植え～障害福祉サービス事業所 明日香～

2 医学講話 胃ろうについて

◆福祉村病院医師／内科認定医
消化器専門医／肝臓病専門医 山本 高也

6 特集 社会福祉法人 家族会 各施設の紹介

2023
vol.603

7



医学講話

福祉村病院医師／内科認定医
消化器専門医／肝臓病専門医

山本 高也



胃ろうについて

はじめに

現在、経口摂取が難しくなってきた患者さんに対しての栄養補給の方法として主に3つの方法があります。

- 点滴による栄養補給
- 鼻からチューブを入れて胃に落とし、そこから栄養剤を入れる方法（経鼻経管栄養といえます）
- 胃ろうをつくり、直接胃に栄養剤を入れる方法（胃ろう栄養といえます）

今回はこれらの方法のうち、胃ろうについてお話をしていこうと思えます。胃ろうは、手術を行いお腹から胃にかけて小さな穴をあけて、そこに栄養剤注入用の道を作ります。この道から

栄養剤を入れることによって、経口摂取が難しくなった患者さんのご飯の代わりにすることが出来ます。

胃ろうは、飲み込みが悪くなってきた患者さんにとっての負担が少ない栄養補給の方法です。そのメリットは、鼻からチューブを入れる栄養補給（経鼻経管栄養）と比較して、顔にチューブや絆創膏がないため、不快感が少なくなり、表情が豊かになります。また、喉などにチューブがないため、口から食べるリハビリや言語訓練もしやすくなります。現に胃ろうを作成し栄養補給の中心をそこから行い、嚥下リハビリを行った患者さんが、のちにしっかり食べることができるようになったケースもあります。しっかり口から食べることができるようになれば、胃ろ



うカテーテルを抜去することも出来ます。

また、点滴による栄養補給と比較して厳密な清潔操作が必要ないため、手技と管理が容易で安価です。厳密な清潔操作が必要ないことにより、在宅でのケアがしやすくなります。患者さんに、なるべく自宅で過ごしていただきたい、という希望があるご家族にとっては、胃ろうを造設することはよい選択となってくるかもしれません。

胃ろうカテーテルの種類

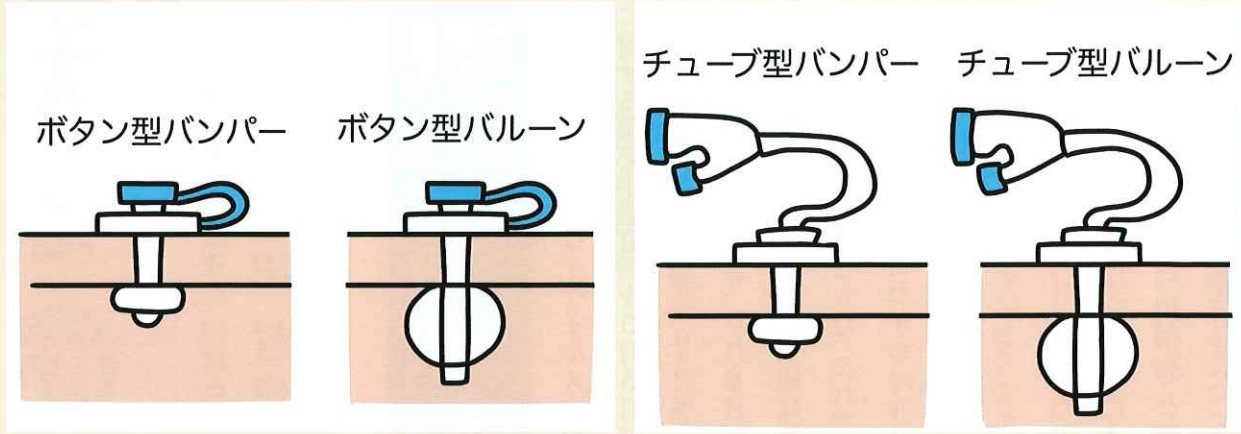
胃ろうに取り付けるカテーテルは、体の表面から出ている形によってチューブタイプとボタンタイプの2つに大きく分かれます。また、胃の中に入っている内部ストッパーの形によってもバンパー型とバルーン型の2つに分かれており、それぞれの組み合わせで4種類あります。

それぞれの特徴

図のようにチューブ型のカテーテルを使用している場合には、常にお腹からチューブが出ている状態になります。

一方で、ボタン型のカテーテルの場合には、使用する時に専用のチューブを接続する必要があります。栄養を流し終えたら、チューブを外すといった作業が必要です。ただ、常にお腹からチューブが伸びているわけではないので、見た目がすっきりとしますし、患者様本人が引き抜いてしまうリスクや、チューブが何かに引っかかり抜けてしまう、といったリスクが少ないです。こういったリスクを考慮し当院で胃ろうを造設する場合には、ボタン型バン

パータイプを採用しています。



胃ろうのつくりかた

胃ろうは、通常、胃カメラを使って造ります。

- ① 患者さんには、静脈麻酔を使いしっかりと眠ってもらいます。
- ② 胃カメラで胃の中を観察しながら胃ろうを造る場所を確認します。
- ③ 局所麻酔を追加し、専用の糸を使い、胃壁と胃を固定します。
- ④ 胃ろう造設キットを使って造設を行います。

造設にかかる時間は、約20分から30分くらいです。事前準備や麻酔薬で眠ってもらうまでの時間も入れて約1時間で終了します。

術後の使用や管理について

術前に患者さんが、何か内服薬を飲んでいた場合は、施設によっても異なりますが、術後3時間から胃ろうを使って薬剤の投与が可能です。栄養の投与は、術後の翌日から、薄い濃度の栄養から開始します。徐々に栄養のカロリーを上げていき、順調に経過すれば、術後1週間には通常のカロ

リーまでアップすることができます。もし患者さんが経口摂取を行う場合は、術後1週間から可能です。

次に、胃ろうを造った患者さんのお風呂についてです。当院では、術後2週間までは、清拭で対応しています。それが以降はシャワー浴が可能です。それでも問題がなければお風呂に入ることも可能です。入浴する時は、胃ろうをビニールで覆ったりする必要はなく、そのまま湯船につかれま。入浴のあとには水気をふき取り、しっかりと乾燥させます。シャワーや入浴のあとに胃ろうの周りを消毒する必要はありません。

つくるときの合併症

内視鏡を使って胃ろうを造る際には合併症が起こる可能性があります。その合併症についてお話しします。

- ・出血
小さいですが、お腹に傷を作るので、そこから出血するリスクがあります。そのため、術前に患者さんが、抗凝固薬の内服をしているかの確認が必要です。

- ・感染
胃ろうを造設した場所に感染を起こすことがあります。

- ・腹膜炎
腹壁と胃の間に腹膜という神経が通る膜があり、そこに炎症を持つ可能性があります。
- ・腸管損傷
腹壁と胃の間に、大腸などがあるとその腸管を損傷してしまう可能性があります。

今回は胃ろうについてお話させていただきました。胃ろうは管理が比較的容易です。なるべく自宅で看てあげたいという場合にも有効な栄養補給の手段となります。

もう少しつと知りたい、相談したいなどあれば気楽に聞いてください。

【参考図書】

オリンパス株式会社
胃ろうの管理・洗浄マニュアル

新型コロナウイルス10 新型コロナウイルスはどこから来たか？

WHOが新型コロナウイルス流行に対する緊急事態宣言を5月5日に解除し、日本でも致死率が0.2%に弱毒化したこともあり、5月8日に、新型コロナウイルス感染症は第5類へと変更になりました。これで、3年半にわたる新型コロナウイルスの世界的大流行(パンデミック)は一応の目途がついたこととなります。しかし、新型コロナウイルスが2019年末に中国、武漢で流行したとき、中国、WHOともに偽情報を流し、パンデミックを悪化させたことは忘れてはいけません。

ともかくも見えない「鬼」に対する恐怖からは解放されました。なお、これで第2類とした感染対策が無くなりますので、自己責任での注意が必要となります。

新型コロナウイルスは、世界中で7億7000万の感染者、700万人の死者を出しましたが、日本では3千400万の感染で百分の1の7万人の死者で済んでおり、感染コントロールに大成功したと言えます(一)。しかし一方で、老人、弱者の死が受け入れられたと思います。

今後、新しいパンデミックを防ぐうえで、新型コロナウイルスのパンデミックがなぜ起こったかを解明する必要があります。新型コロナウイルスの由来について、欧米ではSARSやスペイン風邪のように動物を介してヒトに感染するように変異したという自然発生説と、武漢の研究所から漏れ出たという研究所漏洩説の2つの説が議論されており、米国では研究所漏洩説が政治的に優位となつています。日本では唯一、筑波大

学准教授の掛谷氏のみが研究所漏洩説を主張しております。これまで、ソ連風邪(中国)、炭疽菌(ソ連)など、細菌、ウイルス兵器開発の中で、病原性微生物の流出事故がありました。

自然発生説を裏付ける根拠として、コウモリのウイルスがヒトに感染するように変化する中間宿主としてタヌキが提唱されましたが、その変化の過程を解明し、速やかに察知するシステムを作り上げる必要があります。一方、研究所由来とすれば、ウイルスを作成した設計図、どのようにして、研究所から漏れ出たのかを明らかにして、今後はそのようなことが無いように規制をかける必要が出てきます。このように新型コロナウイルスの由来により、全く異なった対応が必要となります。

今のところ、どちらの説についても、決定的な証拠は見つかっておりませんし、中国が、武漢で感染が起る前後のデータを秘匿しました。新型コロナウイルスは突然出現しましたが、すでに、ヒトに感染しやすいよ

うに変化し、さらに、病原性を高めるフリンという酵素の認識部位を持つております(図)。ノースカロライナ大学のBaric教授のSARS類似ウイルス改変とP2という低レベルの感染実験室で行う研究計画書が開示された(二)ため、私は武漢ウイルス研究所からウイルスが流出し、感染が拡大したという説を支持しております。

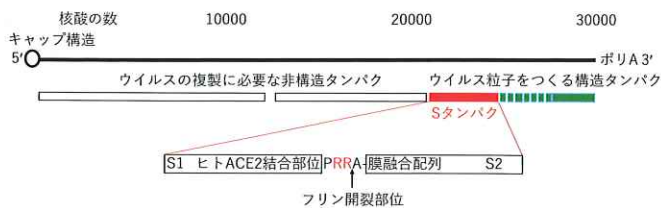
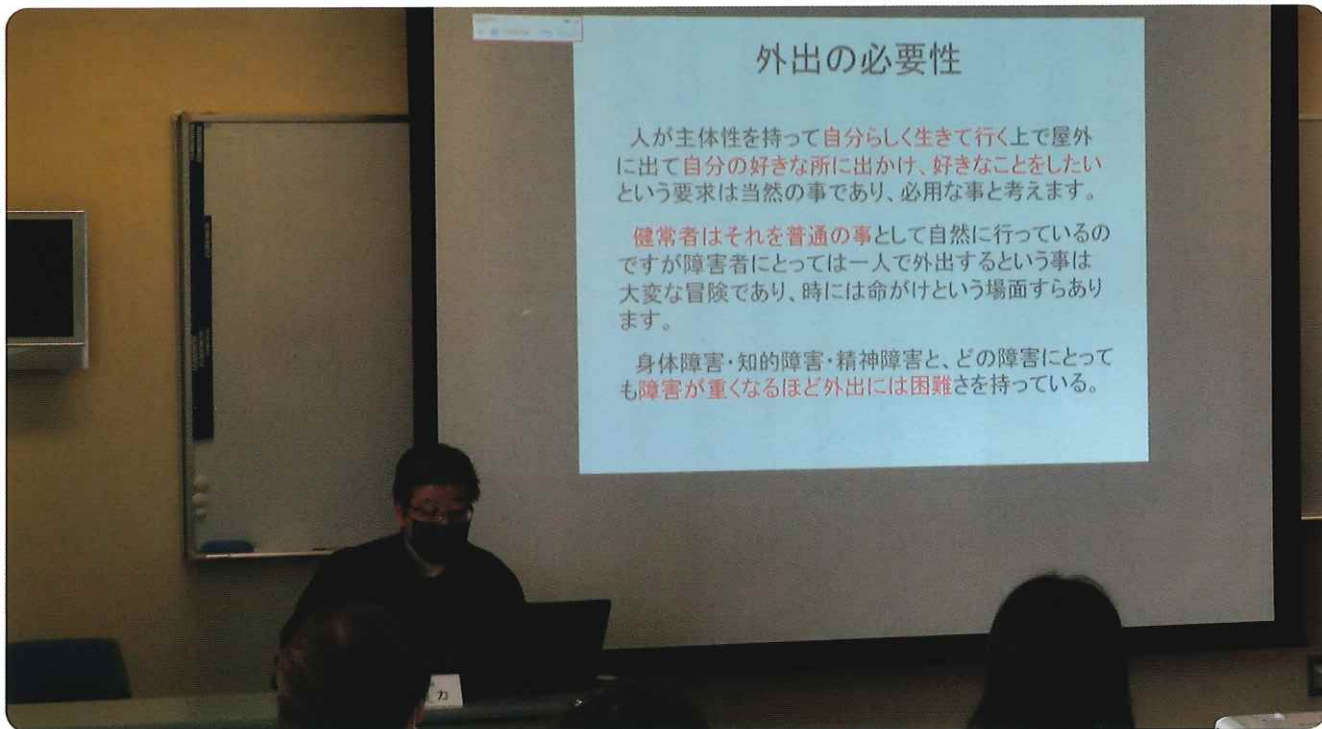


図1 Baric教授の設計によるSARSコロナウイルス2のゲノム構造
まず、野生動物から分離したSARS類似ウイルスのSタンパクの受容体結合部位をヒトACE2に結合しやすく変え、さらに、病原性・毒力を高めるためにフリンというタンパク分解酵素の開裂部位を挿入する。EcoHealth Allianceの米軍への申請によると、こうして作ったSARS類似ウイルスをコウモリに感染させて、自然界に戻し、ワクチンとして機能するかを調べるとあったが、これは、ウイルス兵器開発計画そのものと考えることができる(2014年、この申請は却下されている)。

(二)令和4年度地域保健総合推進事業「新型コロナウイルス感染症対応記録」<http://www.wjpha.or.jp/よりダウンロード可能>
(2) <https://ustrk.org/>

ガイドヘルプボランティア養成講習会の講師派遣 ～障害者支援施設 珠藻荘～



5月13日、14日に豊橋市社会福祉協議会主催の「肢体不自由者ガイドヘルプボランティア講習会」へ珠藻荘より2名の講師を派遣いたしました。「肢体不自由ガイドヘルプボランティア」とは、様々な理由による障がいや加齢に伴う身体の虚弱化により、一人での外出が困難な肢体不自由者の外出をお手伝いするボランティアです。

【13日】担当:田中副施設長

13日の講義では、障がい当事者の立場から重度の障がいを抱える方にとって、まだまだ自由に行きたい場所に行けないという課題があり、その要因のひとつとして付き添い者や介助者といった支援者不足がある事を述べました。だからこそ外出することによって得られる幸福感や社会参加促進に向けて、肢体不自由者ガイドヘルプボランティアの活動の重要性を深める講話をしました。

【14日】担当:中西副介護士長

- ・車いすの各部位の名称や取扱時の注意事項の説明
- ・介護者と障害者役に分かれての交互体験
- ・リフトカーへの乗り込み介助

参加された受講者からは「思っていたよりも車いす操作は難しい」「段差を超える際は特に注意が必要だと思った」などの感想が述べられました。



特集

社会福祉法人 家族会 各施設の紹介

障害者支援施設 珠藻荘

珠藻荘利用者様のご家族及び保証人の協力のもとに文化祭などへの参加協力や施設内での充実を図るために費用負担等をしていただいております。具体的には、利用者の皆様へ誕生ケーキのプレゼント、生活における必要物品として空気清浄機などを購入してくださっており、このほかにも葬祭・結婚・入院見舞金・餞別などの冠婚葬祭費として毎年約10万円程の計上がなされており支出していただいております。

珠藻荘では家族会総会を通常年2回ほど行い、その中で珠藻荘での取り

組み説明や福祉制度などの情報提供、家族会運営に関しての議論など

をしています。コロナ禍の影響で総会

開催ができない状況が続いております

でしたが今年度は夏場に向けて総会開催を予定しております。

このように家族会は、利用者様の豊かな施設環境と活動に対する大きな心の支えとなっており、利用者様の幸せのために今後も、考えてまいります。

(山田)



障害者支援施設 あかね荘

5月21日(日)3年ぶりに、皆さんの

お顔を見ての家族会総会を開催する

ことができました。あかね荘の家族

会総会の目的は「会員及び職員の相

互協力のもと、利用者様の自立と自

己実現を図ること」です。

目的を達成するために掲げる事業

は六つあります。

(一) 総会及び理事会の開催

(二) 会員相互の交流・親睦

(三) 諸行事への参加協力

(四) 居住環境整備への協力

(五) 障害者福祉の啓蒙活動

(六) その他前各号の事業を達成する

ために必要な事業となっております。

(二)の総会は年3回開催しており、第

一回目の今回は家族会役員挨拶、自治

会役員紹介、職員挨拶、昨年度事業

報告、今年度事業説明を行いました。

しるがねの2階を会場に行われた

総会には、18家族様に参加されまし

た。開会までの時間は、久しぶりの再

会に談笑して過ごされているお姿が

印象的でした。

ご家族の皆様のお変わりのない、元

気なお話しぶりに安堵と喜びを感じ

ました。

自治会役員紹介は、会長・副会長が

ご家族の前で「頑張ります」と堂々と

挨拶をされました。ご家族の前で挨

擗ができた喜びで、感極まり涙ぐむ利用者様の姿に、開催できなかった3年間という重みを実感しました。

職員の紹介についても、ここ数年はお電話や機関誌等の誌面に限られておりました。総会では自己紹介をし、仕事への思い等をお話しさせていただくことができました。ご家族様から「頑張つてね」という励ましのお言葉をいただく場面もあり、私たち職員モチベーションが上がりました。

他にも数え切れないほど、こころ温まるエピソードがありました。外国籍の方の流ちょうな日本語に「おお」という驚きの声がありました。若い職員のやや緊張気味の自己紹介は、あたたかく見守ってくださいました。

今回の家族会では、直接お顔をあわせてコミュニケーションをとることの喜びと、大切さを再認識しました。

今後も家族の皆様とのコミュニケーションを大切に、連携をはかることで

利用者様のしあわせを守っていきたくて考えています。
(高橋)



障害福祉サービス事業所 明日香

明日香の家族会は、利用者様の父母兄弟等及び明日香職員相互の連携協力のもとに利用者様の一般社会への自立を目的としています。活動としては1.明日香と協同して定期家族会

を開催 2.利用者様の家族相互間の親睦交流を図る 3.明日香の催す諸行事に積極的に参加・協力 4.その他必要と認められる事業の実施となります。4月22日(土)に家族会総会を開催し、事業報告、決算・予算報告等を実施しました。近年の傾向として、家族会役員については85歳以下の会員による当番制へ変更、役員の数も6名から10名へ変わりました。任期は2年、1年ごとに5名が入れ替わることとなります。人数が増えたこと、役員も父母だけでなく兄弟にも参加していただけるようになり、様々な意見が出るようにもなってきました。家族会費の活用に関しては、今までは行事協賛費としてあててきましたが、コロナ禍においては、行事が行なえなかったり、ご家族の行事参加が難しかったりしたため、代わりに非接触型の体温計やデジタルカメラを寄附していただけてきました。

明日香では総会を含め、年5回の家族会を開催しています。また、年に1回、家族会向けの勉強会も実施しています。

今年度に関してはご家族の要望をしっかりと組み入れるため、年2回の勉強会を実施する予定です。

引き続き、ご家族としっかりと連携を図りながら、利用者様への支援、明日香の運営をしっかりと行つてまいりたいと思つています。
(安田)



地域密着型サービス事業所 常盤

5月8日、「家族会総会」を実施し、ご家族9名にご参加いただきました。今年度は家族会からの寄付として、特養には「L字柵」「座コイル」「介助シート」を各1つ、グループホームには「ひじ掛け付チェア」をいただきました。



また、今回は満足度アンケートにて「食事の内容が分からない」との意見がありましたので、試食会を行いました。「普通食」「介護食（ソフト食）（ミキサー食）（ゼリー食）」を試食していただき、「食事内容が分かって安心しました」等のお言葉をいただきました。

今後ともご家族との関係づくりに努め、ご家族が要望などを伝えやすく風通しの良い施設になるよう心掛けていきたいと思います。
（藤原）



特別養護老人ホーム さわらび荘

さわらび荘では、5月2日午前中に家族会総会を、さわらび荘の近くにある浪ノ上住民会館で開催しました。今年度は役員の皆様を含めた15家族18名のご家族にご参加いただきました。

総会の中で、立ち上がりの際、転倒のおそれのある方が使用する車いす用センサーマットを3台、床に敷くことでベッドからの転落時に怪我を予防する衝撃吸収マットのご寄付をいただくことをご承認いただきました。大

切に使わせていただきます。

また家族会総会后、前年度に家族会から費用をご負担いただいた、さわらび荘正面玄関前の花壇のお披露目をさせていただき、併せて1階のお部屋に面している庭の花壇に苗の植え付け作業を入居者様と一緒に行うことができました。
（渡邊憲）



グループホーム 白珠

5月29日、平川本町住民会館にて「家族会総会」を開催し、4名のご家族に参加いただきました。

総会では、開所時より入居されている方のご家族から、今年入居されたご家族へ白珠の様子をお話していただきました。

家族会からの寄付は、毎年春と秋に花壇の苗を購入していただいています。今年には中庭で使用できるようにと、キャンプ用テーブルを2個寄付していただきました。

今年に入居者様、ご家族、職員での日帰り旅行を再開したいと計画中で、皆さん楽しみにされています。
（島本）



特別養護老人ホーム
第二さわらび荘

4月27日に今年度の家族会総会を開催しました。家族会費は利用者様の生活がより良いものとなるために使用させていただいており、今年度は重症化予防のためのエアマットのリース代や、テイルトリクライニング機能付車椅子、サイドテーブル、スティック型掃除機、利用者様用の非常食を購入していただきました。ユニットで行う教養娯楽費にも家族会費を使用させていただいております。また、第二さわらび荘では毎年夏に向けてグリーンカーテンを作りますが、ゴーヤ苗土などを家族会費で購入していただき、ご家族にもゴーヤの苗植えを手伝っていただいております。(井上)



特別養護老人ホーム
カサブランカ

5月12日にカサブランカ家族会総会を開催いたしました。家族会役員協議のもと、以前購入していただいた移乗用リフトのスリングシートを1枚、Bluetooth対応のスピーカーを2台、非常災害時用のランタンを30台、購入していただきました。総会終了後には家族会より母の日のお祝いにカーネーションをプレゼントしていただきました。夏祭りやクリスマス会などイベントを家族会共催で行っております。利用者様の喜ぶ顔を目指してこれからも家族会と力を合わせて支援をしていきたいと思っております。(小久保)



特別養護老人ホーム 天伯

1 天伯では5月26日に家族会総会を
階相談室にて実施いたしました。参

加ご家族より、昨年度の事業報告と今年度の予算について承認をいただき、スウィング型ベッド柵2個と車椅子立ち上がりセンサー4個を購入していただくこととなりました。感染状況をみながらにはなりますが、家族会の皆様と協力できる機会を増やしていきたいと考えています。(塩見)

グループホーム フジ

4月25日に家族会総会を開催しました。総会の中で皆様からいただいている会費の使い道を話し合った結果、車椅子対応の体重計と椅子5脚を購入していただきました。

その他、5月17日と26日に豊橋総合動植物公園への外出支援を行った際にご家族と一緒に参加していただくなど、家族会と協力しながら入居者様の生活を支援しています。(白井)



地域密着型サービス事業所
カサ デ ヴェルデ

家族会総会が4月25日に行われました。久しぶりに対面形式で行われ、直接会ってお話できてよかったです。家族会費では、1階特養オープンに向け車椅子4台の購入についてご承認いただくことができました。

5月16日、家族会役員の方が耕運機を貸し出してくださり、カサ デ ヴェルデの畑を家族会の皆様が耕してくださいました。

5月17日、家族会と一緒に畑の畝を作ったりマルチを張ったりしてサツマイモ植えの準備を行いました。

今後の家族会デーではおむつたのみや、車椅子清掃を予定しております。(若見)



ご家族様との行事再開

～特別養護老人ホームさわらび荘～

美しく花を咲かせた、藤棚のあるさわらび荘の中庭で、5月17日に野点を行いました。

今回は11組14名のご家族にも野点に参加をしていただき、入居者様と一緒に抹茶とお茶菓子を召し上がっていただきました。久しぶりに対面での行事が行えて、皆様笑顔で野点を楽しまれました。

当日は、5月晴れの非常に良い気候であり、季節の行事をご家族と満喫していただきました。(渡邊憲)



地域イベントへの参加

～地域密着型サービスマスター常盤～

5月30日、常盤のある東田校区にて、中央地域包括支援センターなどが主催した認知症を理解するイベント「認知症よりそいたい」が実施されました。当日は地域の方35名が参加され、常盤職員も校区の事業所として参加させていただきました。「認知症になっても地域の中で安心して暮らせるまちづくりを」と呼びかけ、参加者がグループを作って地域内を歩きチラシを配布しました。

今後、地域の皆さまと一緒に「高齢者にやさしい街づくり」を目指していきたいと思えます。(中坪)



ラジオ体操動画導入

～特別養護老人ホームカサプランカ～

「ラジオ体操のリズムや歌がバラバラになっている。皆がリズムに合わせて一緒にできるようにユーチューブ動画等を活用しては？」と谷先生からアドバイスをいただき、ラジオ体操の動画をテレビ画面に映し体操をしています。

家族会費で購入していただいたスピーカーをタブレットにつなぎ、そこから流れてくる音楽に合わせて歌う利用者様は、以前よりも声がでておられ一体感を感じられるようになりました。(三ツ井)



地域包括支援センターの活動

～福祉村地域包括支援センター～

5月20日、芦原校区老人会「長生会」の皆様に向けてALSOK豊橋支社様による「ほっとライフ講座」を実施し、三択クイズで最新の特殊詐欺状況や防犯について楽しく学ぶことができました。「今一度家の防犯を見直して注意したいです。」など参加者様からも感想をいただきました。(渡邊)



～さわらび地域包括支援センター～

6月1日、北町老人クラブ定例会にて出前講座を開催しました。

行事報告

〜福祉村障害福祉サービス事業所しらがねすみれ〜

5月に入り数日に分けてのんほいパークに行きました。しらがね20名、すみれ7名の方が参加されています。久しぶりの外出の方もおり、いろいろな動物を見て回り利用者様の顔もほころんでいました。

(藤井)



〜障害者支援施設 珠藻荘〜

5月21日天伯小学校の運動会へ利用者様1名と行ってきました。

3年振りに招待を受け生徒さん各学年の徒競走を観戦したのち、赤組白組の応援合戦を見学し交流を深めました。

(岩水)

〜グループホームフジ〜

5月17日にフジ2、5月26日にフジ3とユニットごとに日時を分け、入居者様18名、ご家族14名、職員10名で豊橋動植物公園へ出掛けました。

(白井)



〜障害福祉サービス事業所明日香〜

5月22日、3年ぶりにバスハイイクを実施しました。感染症対策のため、今年度は3班に分け7月と9月にも実施予定です。今回は、利用者様18名、職員11名の計29名の参加で、岐阜県の千代保稲荷と世界淡水魚園水族館にいきました。

(安田)



〜障害福祉サービス事業所明日香〜

6月3日、田原市にある伊藤海苔屋で毎月第一土曜日に開催されるマルシェに小麦の奴隷が出店し、多くのお客様にパンを購入していただくことができました。

(安田)

〜軽費老人ホーム若菜荘〜

5月25日、利用者様6名、職員2名で豊橋市視聴覚教育センターへプラネタリウム鑑賞に行ってきました。迫力と臨場感のある映像を見て入居者様も楽しみました。

(白石)



良い加減の暮らし

谷さゆり

ローリングストック

ローリングストックを実践しています。実践というが大袈裟ですが最近なんとか形になってきました。そこに至るまでには数多くの失敗の連続でした。最初は阪神淡路大震災大震災をきっかけに水と食べ物を備蓄しようと思い、5年間保存可能な2リットル入りの水のペットボトルを6本と乾パンの缶詰を用意しました。保存場所は押入れで緊急時のみ持ち出すと言いつつ使い方は使った。ただ幸いなことに使用する機会に恵まれず、いつしか「保存してある水・食料が押入れにある」という記憶はあっても「何時から保存しているのか」「保存期限はいつなのか」を全く記録していませんでした。そろそろ5年くらいかな?と思い日付を確認するともう使用期限が経過して数年…。ペットボトルの水は掃除に、乾パンは生ごみとなりました。これではいけないと反省し非常持ち出し袋を作りました。リュック

サックに2リットル入りの水のペットボトルを2本、百均で売られている透明な水筒の中にソイジョイなどのスティック状の食品と分包された塩飴やのど飴、コーヒヤやココア、場合によっては経口補水塩やスポーツドリンクの粉末ステックを入れました。他にも古新聞や小さなレジャーシート、非常用簡易トイレ等々必要と思われるものも詰め込んだ結果、異様に重いのです。マザーズバックならたくさん入るかなと思いついて自分の入れたいものが多すぎて…登山用の軽量で丈夫なリュックであれば良かったのかもしれませんが、それにしても重すぎる…設置してある玄関前から迅速に持ち出す自信はありません。最後に行きついたのはキャスター付きスーツケースへの収納でした。最近仕事で新幹線を使い出かける事も多いため出張用に使っているスーツケースに500mlペットボトルを6本と食糧を入れるようにしました。出かける時はここに必要な荷物を入れ出かれています。時々列車遅延で待たされる事もありますがお腹が空いたらここから取り出して飲食し減った分だけ買い足します。缶詰類はこの中には入っていないので栄養的には良くないのですが携帯する事を主体にして運用した感想は順調です。

最後に台風2号による大雨で被害を受けた地域の皆様にお見舞いを申し上げます。今年の夏は猛暑の予報です。どうぞご自愛くださいませ。

Vol.183 relay column さわらび会のわ

福祉村病院 環境整備員
田邊 昭子



豊橋市の北北

東にある加茂しようぶ

園は毎年5月下旬から2週間ほ

ど、しようぶ祭りが開催されます。加茂神社の境内の元に多種多様にわたる色とりどりのしようぶが植えてあります。観賞用に歩道も整備されています。写真映えのする赤たいこ橋があり、花は色や染め具合を競っています。私は5月28日に行きました。道中はドン曇りでしたが現地に着いた時は白い雲と青い空に恵まれ、しようぶもスマホで写真に撮りました。アンドロイドのため、写真にプリントアウトすることができなかったのが残念ですがスマホでいつでも見る事ができるので良いとします。

しようぶ祭りの期間は臨時の駐車場もあり不都合はありませんでした。6月の中旬以降にはしようぶの株わけ作業もあります。また来年も綺麗なしようぶが咲くと良いですね。皆さんも是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

私のプロフィール

第一ざわらび荘 EPA介護福祉士候補生
 エリスヌルリア
 出身●インドネシア
 学歴●Akademi Keperawatan
 Al Islam Yogyakarta



私の名前は、エリスヌルリアです。第二ざわらび荘3ABユニットで介護士として働いています。私はインドネシア、正確には西ジャワ州シアミスからEPAプログラムに参加しています。今回はインドネシアの家族旅行に おすすめのスポットについて少しお話しします。

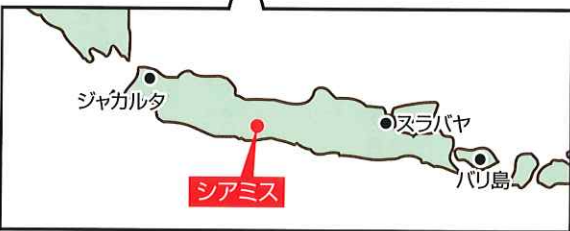
私たちの地区には、その美しさで非常に有名なビーチがあり、ほぼ毎週末このビーチはいつも観光客でいっぱいです。自宅から約50km離れていますがよく行きました。皆さんからは、パンガンダランビーチと呼ばれ水も澄んでいて、波も小さく穏やかな砂浜で安心して泳ぐことができいつも観光客で賑やかです。

ビーチ周辺には、伝統的料理を提供する旅館やレストランが数多くあります。

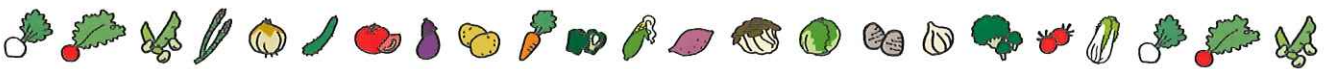
近年コロナ禍で閉鎖されていましたが、現在は一般公開が始まっています。

このビーチのもう一つの興味深い点は、毎年8月に開催される非常に活気のあるマリンスポーツイベントがあります。このイベントは、通常伝統的な歌や踊りのパフォーマンスのほか巨大な国際風揚げ協議会も開催されます。競技大会には、海外からも多くの参加者が集まり活気に溢れています。

インドネシア ジャワ州周辺の主要都市



私は、夕暮れ時になると波の海岸線に沿って歩くのが大好きでした。美しいパンガンダランビーチの砂浜が恋しくなります。



第110回 さわらびキッチン 栄養士のつぶやき

明日香 栄養士 小林 由香

梅雨が明けると夏本番。今回は、土用の丑の日のお話です。

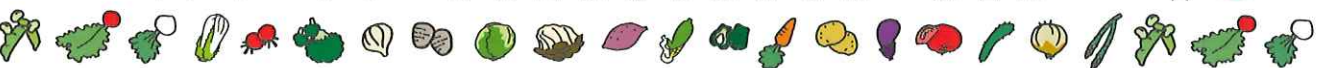
「土用」とは、季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前の18日間を指します。丑の日は昔、日にちを十二支で数えていた時に丑に該当する日で12日周期で回って来ます。

夏の土用は特に体調を崩しやすい時期のため、重要視されています。うなぎを食べる習慣は江戸時代に定着したと言われています。諸説ありますが、平賀源内の発案でうなぎ屋に土用の丑の日はうなぎの日と張り紙をしたのが始まりだとか。うなぎはビタミンが豊富で、疲労回復効果や食欲増進効果があり、夏バテ防止にも良いです。定番のうなぎや蒲焼き、白焼きはわざわざ醤油がおすすです。卵で巻いたう巻きや胡瓜の酢の物にうなぎを入れたうぎくもさっぱりとして美味しいです。

また、土用にはうがつくものを食べて養生する風習があり、うどん・梅干し・うりなどがあります。

スーパーでも土用しじみや土用餅(あんころもち)・土用卵(土用に産まれた卵)が売られていますので、夏を乗り切るためこれらも是非食べたいものです。

今年の土用の丑の日は7月30日です。



さわらび会後援会寄附ご芳名

令和5年4月6日～令和5年5月5日

豊橋市野依町字西物草 1 2	家具の街ヨコモランド	10,000 円
豊橋市小池町 3 6 - 1	共和印刷(株)	5,000 円
豊橋市入舟町 2 1	(株)三恵薬品	10,000 円
豊橋市駅前大通一丁目 5 5 サーラタワー	サーラエナジー株式会社	10,000 円
豊橋市野依町字山中 1 9 - 1 4	福祉村病院職員有志	1,000 円
	匿名氏	1,000 円

たくさんのご寄附ありがとうございました。
計 **37,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
898,237,696円

●福祉用具紹介のコーナー

「Panasonic スムーディ<屋内用>らくらくダブル」

お好みの場所に設置できる2本手すりです。1本手すりより安定感があり、ベッドからの立ち上がりやポータブルトイレへの移乗や立位時などに安心です。高さの調整や手すりの部分も45度と90度に角度が変更できるため、よりそれぞれの身体状況に合わせた利用ができます。

(さわらび地域包括支援センター 白井)



※1割負担 550円/月(税込)
レンタル料は事業所によって価格が異なりますのでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011



福祉村マルシェ
Welfare Village

2023.07.08 日 10:00～16:00 小雨決行



福祉村病院敷地内 芝生公園にて
様々なイベントを開催!

☞インスタグラムはこちらから

第20回 夏休み親子福祉 体験講座

とき 令和5年
8月11日(金) 山の日
午前10:00～午後3:00 **雨天実施**
(受付9:30～)

場所 さわらび会 **福祉村内**
豊橋市野依町字山中19

体験できる催し

- お年寄りの方が生活、通っている施設
 - 高齢者疑似体験
 - 手話にチャレンジ
 - 看護師体験
- 障がい者の方が生活、通っている施設
 - 車椅子体験・ポッチャ
 - どんな気持ちかな?(知的障がい者体験)
 - さわらび太鼓(和太鼓)体験
 - クッキーづくり体験
 - 福祉車両体験

問い合わせ先

若菜荘

TEL(0532)48-1138
FAX(0532)48-2365
メール wakana@sawarabi.or.jp



＊お礼コーナー ありがとうございました＊

※豊橋善意銀行を通して

▼天伯町奥田様※

ネギ(第二さわらび荘・カサ デ ローザ・カサ デ
ヴェルデ・カサ プランカ・天伯・フジ・珠藻荘)

移動動物園が来村しました ～医療法人さわらび会～



5月29日(月)、福祉村に移動動物園を招致しました。

「コロナで外出自粛が続いた入所者様・患者様に、動物とのふれあいで癒しと楽しみの時間を作って差し上げたい。」との職員の声により、レクリエーション委員会で企画しました。

開催当日はあいにくの雨天でしたが、入所者様・患者様、また福祉村保育園の園児たちや社会福祉法人利用者様にも多数ご参加いただきました。

ヤギ・ウサギ・モルモット・ハリネズミ・ハムスター・イヌ・ヒヨコ・ガチョウ・インコ・フクロウ・リクガメ・オオトカゲ・ヘビなど、たくさん動物を間近に見ることができた入所者様・患者様からは「昔、ヤギを飼っていたよ。」「ウサギを飼っていたことがあるんだよ。」など、当時を思い出し懐かしむお声を聞くことができました。

また、大きなヘビやトカゲに驚かれる姿や、かわいいヒヨコやモルモットたちとふれあう皆さんの優しい笑顔をたくさん拝見することができました。

(西潟)

- 福祉村病院
☎ (0532) 46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎ (0532) 46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘
☎ (0532) 54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠
☎ (0532) 66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤
☎ (0532) 62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
ケアハウス カサ デ ローザ
☎ (0532) 37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ プランカ
☎ (0532) 69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デヴェルデ
☎ (0532) 23-5552
- 特別養護老人ホーム 天伯
☎ (0532) 48-1113
- グループホーム フジ
☎ (0532) 54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘
☎ (0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
☎ (0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
☎ (0532) 48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香
☎ (0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しるがね
☎ (0532) 48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター
☎ (0532) 38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町
☎ (0532) 52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村
☎ (0532) 47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ
☎ (0532) 38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム
☎ (0532) 29-8180



医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之

6月豪雨で被災された皆様へ

心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興と皆様のご健康をお祈りいたします。

医療法人 さわらび会
社会福祉法人
さわらびグループ

山本孝之
職員一同